【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年7月12日(2022.7.12)

【公開番号】特開2020-58801(P2020-58801A)
【公開日】令和2年4月16日(2020.4.16)
【年通号数】公開・登録公報2020-015
【出願番号】特願2019-185561(P2019-185561)
【国際特許分類】
　*Ａ６１Ｊ　3/00(2006.01)*
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｊ　3/00　３１０Ｆ

【手続補正書】
【提出日】令和4年6月29日(2022.6.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
錠剤を収容する内部空間を有するカセット本体と、
前記カセット本体の上端開口を開閉可能に設けられた蓋体とを備えた錠剤カセットにおいて、
外部から操作可能な操作部材と、
前記上端開口を閉じた状態で前記蓋体を前記カセット本体にロックするロック部材とを備え、
前記ロック部材は、前記カセット本体又は前記蓋体の被係合部に係合する係合部を有し、
前記操作部材の操作によって前記係合部と前記カセット本体又は前記蓋体の被係合部との係合が解除されるように構成されていることを特徴とする錠剤カセット。
【請求項２】
前記カセット本体が、錠剤容器と、前記カセット本体の前記内部空間の容量を増加するために前記錠剤容器の上端に取り付けられる嵩上げ枠体とを備え、
前記操作部材が、
前記錠剤容器に設けられ、外部から操作可能な操作ロッドと、
前記嵩上げ枠体に設けられ、前記操作ロッドによって操作可能な中継ロッドと、を備え、
前記操作ロッドを介して前記中継ロッドを操作することによって、前記係合部と前記カセット本体又は前記蓋体の被係合部との係合が解除されるように構成されていることを特徴とする請求項１に記載の錠剤カセット。
【請求項３】
前記蓋体が前記嵩上げ枠体の上端開口を開閉可能に設けられ、
前記ロック部材は、前記係合部が前記嵩上げ枠体に設けられた前記被係合部に係合するように設けられている請求項２に記載の錠剤カセット。
【請求項４】
前記蓋体がヒンジにより開閉可能に設けられ、前記ロック部材の係合部が前記ヒンジと反対側に設けられていることを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載の錠剤カセット。
【請求項５】
前記操作部材が外部から操作されることにより前記ロック部材が移動するように、前記操

作部材又は前記ロック部材が傾斜カム面を有することを特徴とする請求項１から４のいずれかに記載の錠剤カセット。
【請求項６】
請求項１から５のいずれかに記載の錠剤カセットが所定の調剤台に設置されたときに、前記調剤台に設けられた操作部が前記錠剤カセットの前記操作部材を操作することにより、前記蓋体が開放されるように構成されていることを特徴とする錠剤カセットのロック解除システム。
【請求項７】
前記錠剤カセットに収容する錠剤が入った薬ビンの錠剤識別子が読み取られ、読み取られた錠剤識別子と前記錠剤カセットに収容されるべき錠剤の錠剤識別子とが一致すると、前記調剤台に設けられた操作部を駆動して前記操作部材を操作するように構成されていることを特徴とする請求項６に記載の錠剤カセットのロック解除システム。
【請求項８】
ユーザにより操作可能なるロック解除ボタンを備え、前記ロック解除ボタンがオンされると、前記調剤台に設けられた操作部を駆動して前記操作部材を操作するように構成されていることを特徴とする請求項６に記載の錠剤カセットのロック解除システム。
【請求項９】
前記ロック解除ボタンがオンされたとき、前記錠剤カセットに収容されるべき錠剤の錠剤識別子と、ロック解除の日時と、ロック解除したユーザのユーザＩＤとを記録するよう構成されていることを特徴とする請求項８に記載の錠剤カセットのロック解除システム。
【請求項１０】
錠剤容器と蓋体の間に設けられ、前記錠剤容器の内部空間の容量を増加する嵩上げ枠体であって、
一端が前記錠剤容器に設けられた操作ロッドに係合し、他端が前記蓋体に設けられたロック部材に係合する中継ロッドを備えることを特徴とする嵩上げ枠体。